

2021 年度事業計画

1. 事業概要

コロナ禍の終息が確認出来次第、活動を再開する。

1.1 第 5 世代移動通信システム

当協議会におけるローカル 5G への対応については、（一社）日本ケーブルテレビ連盟の無線利活用委員会によるローカル 5G の取り組みと歩調を合わせ、通信事業者やベンダーなどの取り組み状況など情報収集を図ると共に、ケーブルテレビ事業者による免許取得などに向けた取り組みを支援していく。

1.2 地域 BWA/IoT

当協議会では、IoT を用いた見守りサービスや観光客の動線の可視化などについて検討を進めてきているが、（一社）日本ケーブルテレビ連盟の無線利活用委員会でも、ケーブルテレビ事業者が IoT を活用した実証事業に向けて検討を行っている。IoT や M2M 用途の LPWA 無線技術としては、Wi-SUN、LoRa、SIGFOX、ELTRES や既存の LTE 規格を拡張した NB-IoT など様々な方式が提案されている。（一社）日本ケーブルテレビ連盟無線利活用委員会の「地域 BWA 推進プロジェクト」による地域 BWA の推進やローカル 5G 導入の検討と連携した技術的課題などについて、当協議会としても継続して検討を行う。

また、当協議会で進めている LoRa WAN を用いた実証実験については、LP ガス検針を始めとして灯油タンク残量監視や河川監視が可能となる水位センサーなどのサービス展開について、ケーブルテレビ事業者やベンダー各社の協力を得ながら検討を進める。

1.3 Wi-Fi

「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けた公衆無線 LAN や防災に役立つ Wi-Fi の環境整備が、2021 年度も全国で進められる見込みであることから、当協議会でも事業者の Wi-Fi 環境の構築について引き続き支援をしていく。

また、2019 年 7 月に総務省令が改正された新たな規格である IEEE802.11ax(Wi-Fi6)や、その後継規格についても情報共有を図っていく。

当協議会は、（一社）日本ケーブルテレビ連盟の技術委員会や（一社）日本ケーブルラボなどと連携しながら、無線 LAN の高度化に向けた課題検討を進めていく。

2. 活動計画

部会	活動事項
無線利活用部会	・ 本部会は、第 5 世代移動通信システム、地域 BWA/IoT エリア放送や、Wi-Fi など、無線技術に係る事項およびビジネスモデルについて検討する。 ・ 第 5 世代移動通信システムについては、大手通信事業者の取り組み状況やローカル 5G の活用事例などの情報収集を進め、（一社）日本ケーブルテレビ連盟の無線利活用委員会の活動と歩調を合わせて活動していく。 ・ IoT の取り組みについては、BWA や LPWA、ローカル 5G も含めて検討を進めていくと共に、LoRa WAN を使用した LP ガス検針サービスについても実証実験再開を目指す。 ・ 「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて観光・防災にも利用できる Wi-Fi 環境の全国整備の方針を踏まえ、ケーブルテレビによる Wi-Fi 環境の更なる構築に向けて、ケーブルテレビ事業者の取り組み支援を行っていく。 また、家庭内のインターネット環境の向上に向けたメッシュ WiFi や IEEE802.11ax(WiFi6)の活用等についても検討を進める。 ・ 23GHz 帯可搬型無線伝送システムや 5GHz 無線アクセスなど、ケーブルテレビで利活用が可能な無線システムについて、利活用の促進に向けた取り組みを行う。
BWA 部会	・ BWA 部会単独での会合開催は、今年度も休止する。 ・ 地域 BWA の推進については、（一社）日本ケーブルテレビ連盟の無線利活用委員会や地域 BWA 推進協議会での活動を主として進めていくこととし、無線利活用委員会や地域 BWA 推進協議会との連携・情報共有を継続し、適宜、当部会および無線利活用部会メンバーへ報告・周知を行う。